
淀川水系 淀川右岸ブロック の環境面・景観面等について

1. 流域の将来像
2. 淀川右岸ブロック河川の特性
3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容
 - (1) 水質
 - (2) 利水・生態系
 - (3) 河川空間利用
4. 維持管理

1. 流域の将来像

＜大阪府、高槻市、島本町の将来像＞

●大阪府のビジョン（将来ビジョン大阪）

- 生物多様性が確保できる豊かな自然環境の保全
- 河川環境の改善等による水とみどりのネットワークの創造

●高槻市のビジョン（高槻市総合戦略プラン（第5次高槻市総合計画））

- 憩いの空間で快適にさせるまち
- 心地よく暮らせるまちをつくる

●高槻しみどりの基本計画

- 水・水辺・歴史的資源の保全・活用
- 地域特性に応じた公園の整備
- 市民・事業者・行政の協働による緑の創出

●島本町のビジョン（島本町都市計画マスタープラン）

- 自然環境の保全・活用
- 快適な歩行者空間ネットワークの形成
- 快適な水と緑のネットワークの形成
- 水と緑のまちを印象づける自然景観の保全

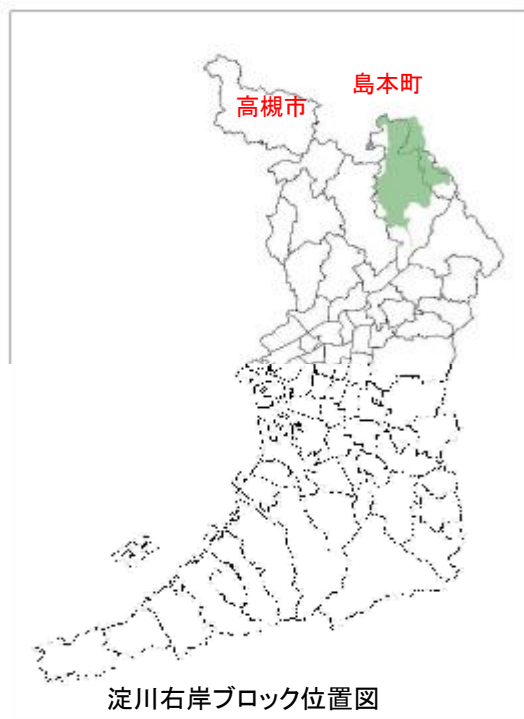
●島本町緑の基本計画

- 自然環境の保全・活用
- みどりの確保・充実
- 景観の形成
- ネットワークの形成
- 住民参加

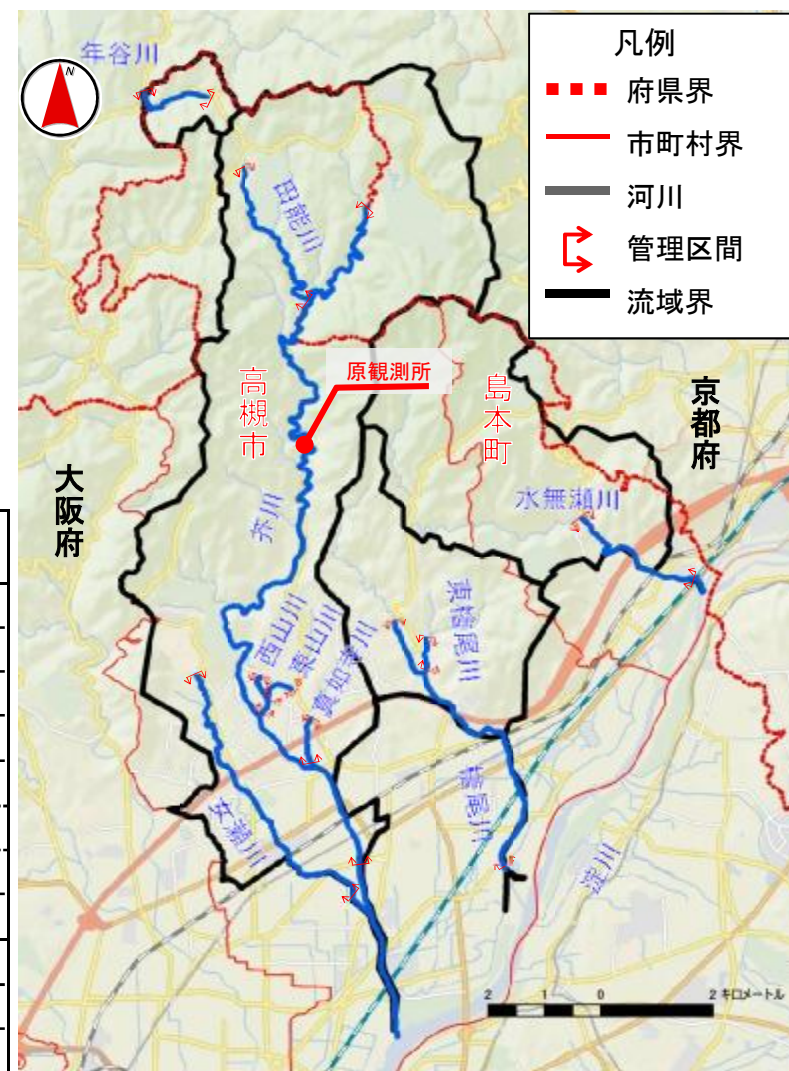
2. 淀川右岸ブロック河川の特性

淀川右岸ブロックは、芥川流域（芥川、女瀬川、真如寺川、西山川、東山川、田能川）、檜尾川流域（檜尾川、東檜尾川）、水無瀬川流域、年谷川流域の4流域10河川から構成される北摂山系に源を発し、主に淀川の右岸に注ぎ込む一級河川。

ブロック全域の指定区間延長は44.0km、流域面積は81.8km²。



河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
芥川流域	50.14	31.6
芥川	36.26	19.3
女瀬川	4.44	6.0
真如寺川	2.08	1.0
西山川流域	2.16	1.6
西山川	1.02	0.9
東山川	1.14	0.7
田能川	5.20	3.7
檜尾川流域	11.56	7.0
檜尾川	7.76	6.2
東檜尾川	3.80	0.8
水無瀬川	17.45	4.0
年谷川	2.60	1.4
合計	81.75	44.0



淀川右岸ブロック図

2. 淀川右岸ブロック河川の特徴

- ・淀川右岸に合流する芥川、檜尾川、水無瀬川、年谷川の4つの一級河川流域で構成され、流域は高槻市、島本町、及び京都府京都市、長岡京市、大山崎町の3市2町にまたがる。
- ・芥川、檜尾川、水瀬川は淀川に合流しており、河口部では高槻市、島本町の市街地の中で、淀川の河川敷と合わせて広い河川空間を形成している。年谷川は、山地区間を流れ、桂川に合流している。

【各河川の特徴】

①芥川

- ・下流（淀川合流点～名神高速）
⇒市街地を流れる河川
- ・中流（名神高速～摂津橋）
⇒住宅地、田園地帯を流れる河川
- ・上流（摂津橋～府管理区間上流端）
⇒山地を流れる河川

②檜尾川

- ・下流（淀川合流点～JR東海道線）
⇒市街地を流れる河川
- ・中流（JR東海道線～東檜尾川合流点）
⇒住宅地、田園地帯を流れる河川
- ・上流（東檜尾川合流点～府管理区間上流端）
⇒山地を流れる河川

③水瀬川

- ・下流（淀川合流点～名神高速）
⇒市街地を流れる河川
- ・上流（名神高速～府管理区間上流端）
⇒山地を流れる河川

④年谷川

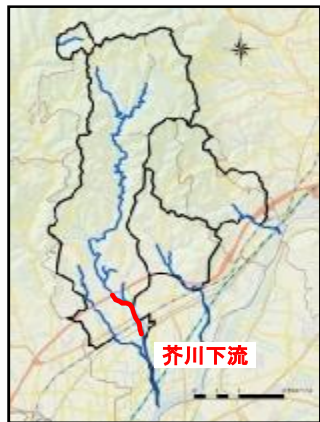
- ・山地を流れる河川



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（芥川）

●芥川下流区間（淀川合流点～名神高速）

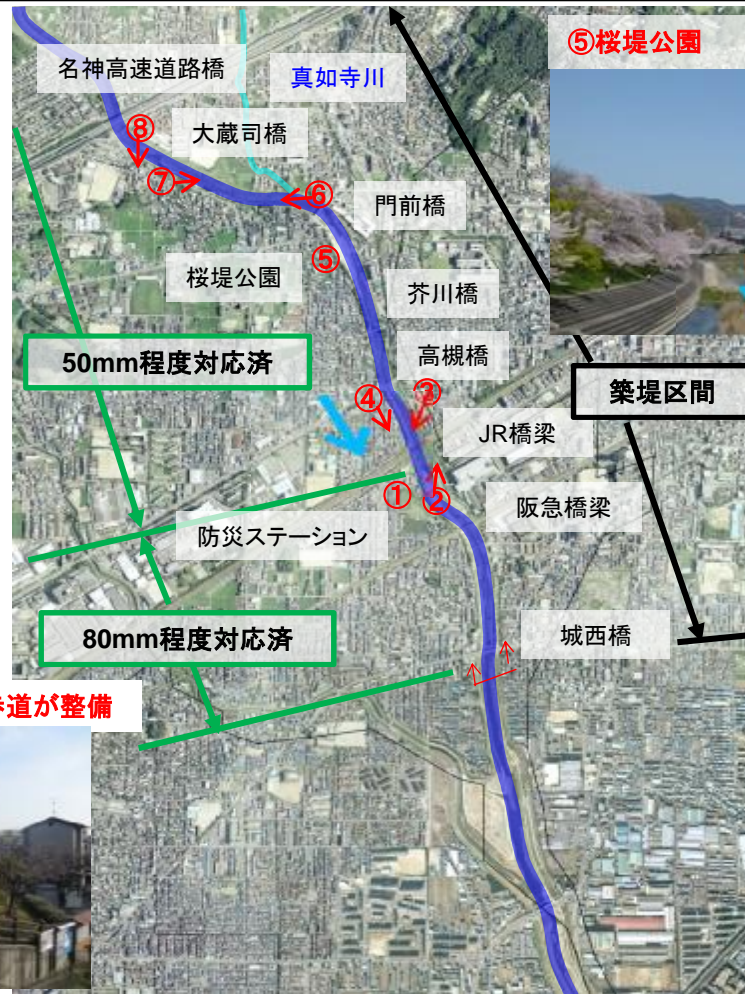
- 川幅は約50mで、女瀬川合流点より下流では約80mに広がり、河床勾配は、1/400～1/600程度である。
- 河道周辺は市街地となっており、兩岸に護岸が整備された直線的な河道である。
- 沿川には、桜堤公園、防災ステーションなどが整備されている。



①防災ステーション



②JR橋梁南右岸側より上流を見る



⑤桜堤公園

⑥門前橋左岸より上流を見る



⑦大蔵司橋下流部右岸より下流を見る



③高槻橋左岸付近より下流を見る



④高槻橋右岸側 遊歩道が整備



⑧大蔵司橋より下流を見る



2 .淀川右岸ブロックの河川特性（芥川）

●芥川中流区間（名神高速～摂津峡）

- 川幅は約50mで、河床勾配は1/80～1/400程度である。
- 河道内は瀬と淵が形成され、河道周辺は農地及び市街地となっている。
- 河川沿川には、芥川緑地（あくあびあ芥川）が整備されている。

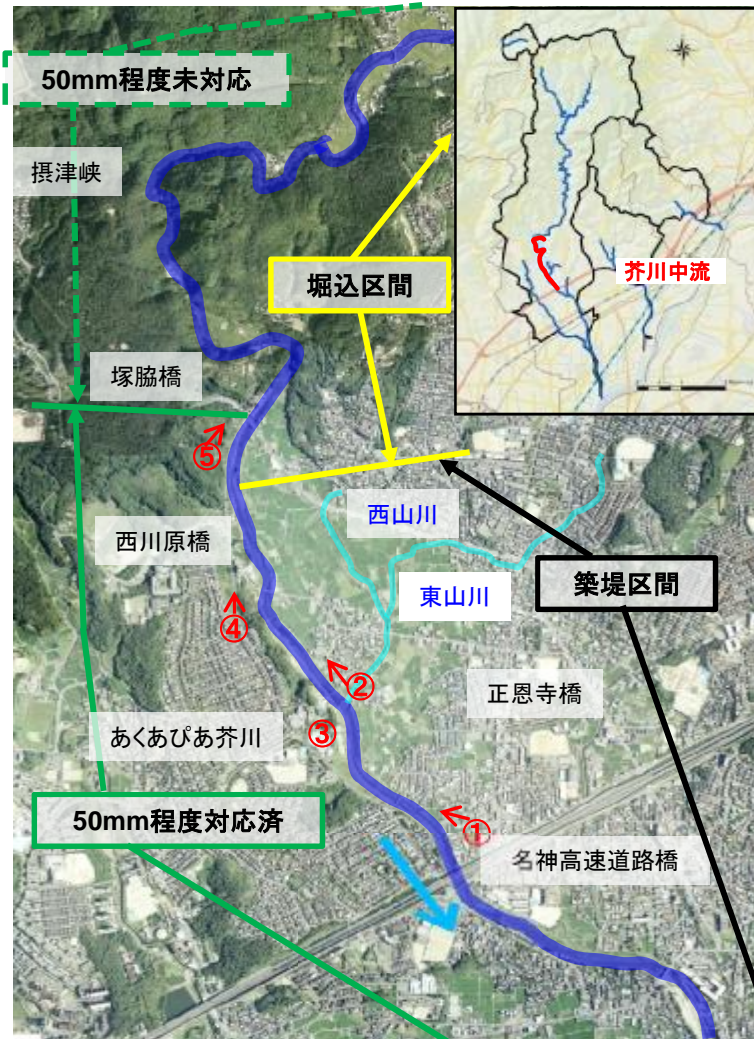
①名神道路橋付近より上流を見る



②正恩寺橋付近より上流を見る



③あくあびあ芥川



④西川原橋付近より上流を見る



⑤塚脇橋付近より上流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（芥川）

- 芥川上流区間（摂津峡より上流）
 - ・川幅は約15mで、一部原大橋付近は約25mとなる。
 - ・河床勾配は1/30～1/80程度である。
 - ・山地が川岸に迫り、瀬と淵が形成され、変化に富む流れとなっている。

①摂津峡大橋付近より下流を見る



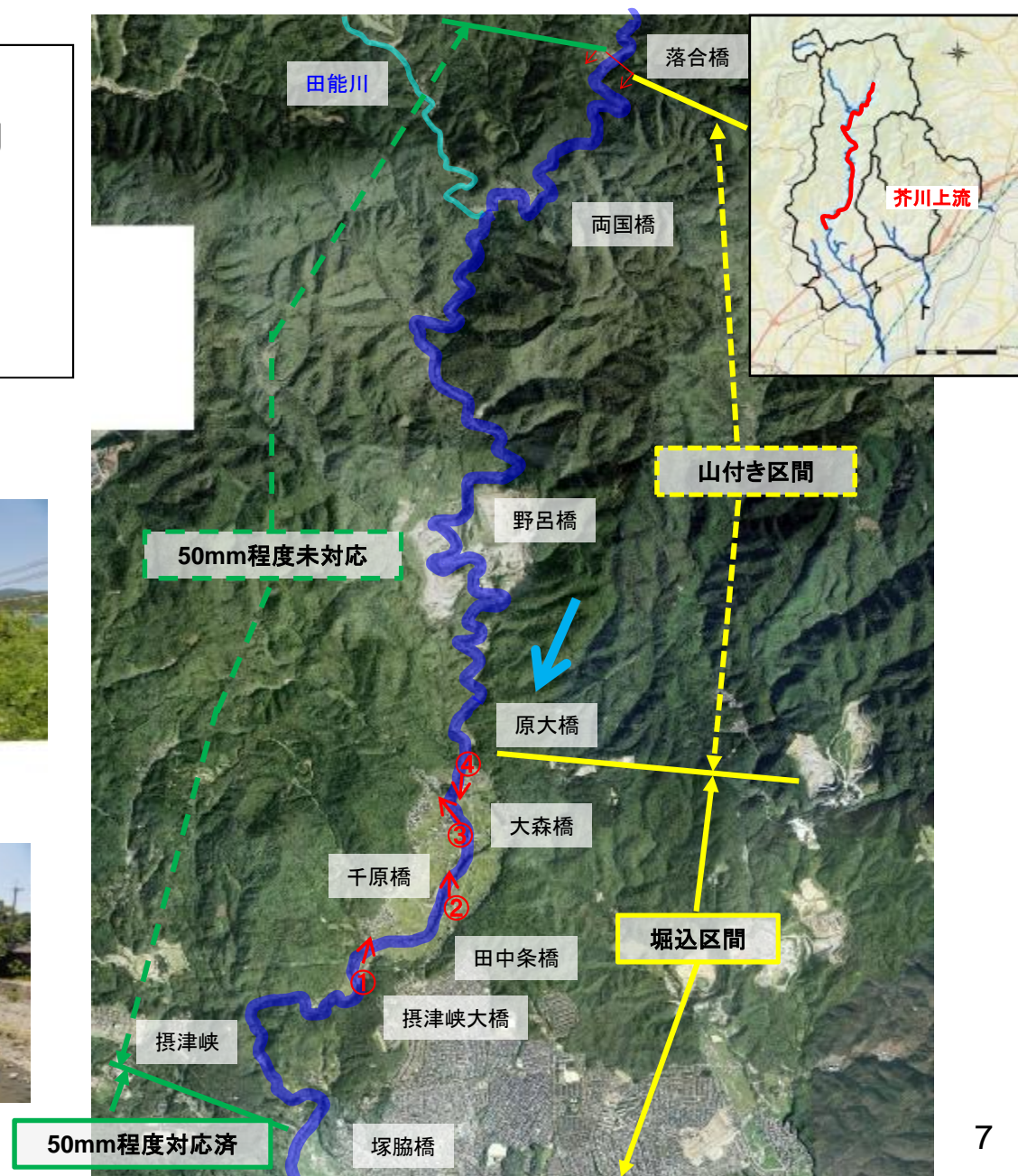
③大森橋～千原橋(上流を見る)



②大森橋～千原橋(上流を見る)



④原大橋付近より下流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（女瀬川）

●女瀬川中下流区間（芥川合流点～名神高速道路）

- 川幅は約20mで、河床勾配は1/100程度である。
- 河道周辺は市街地となっており、両岸に護岸が整備されている。



①津之江5号橋より下流を見る



②天童橋より下流を見る



③女瀬川橋より下流を見る



④女瀬川橋より上流を見る



⑤氷室大橋より上流を見る



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（女瀬川）

●女瀬川上流区間（名神高速道路より上流）

- 川幅は約10mで、河床勾配は1/50程度である。
- 河道周辺は、下流の市街地から、上流域の山地及び農地へと広がりを見せる。

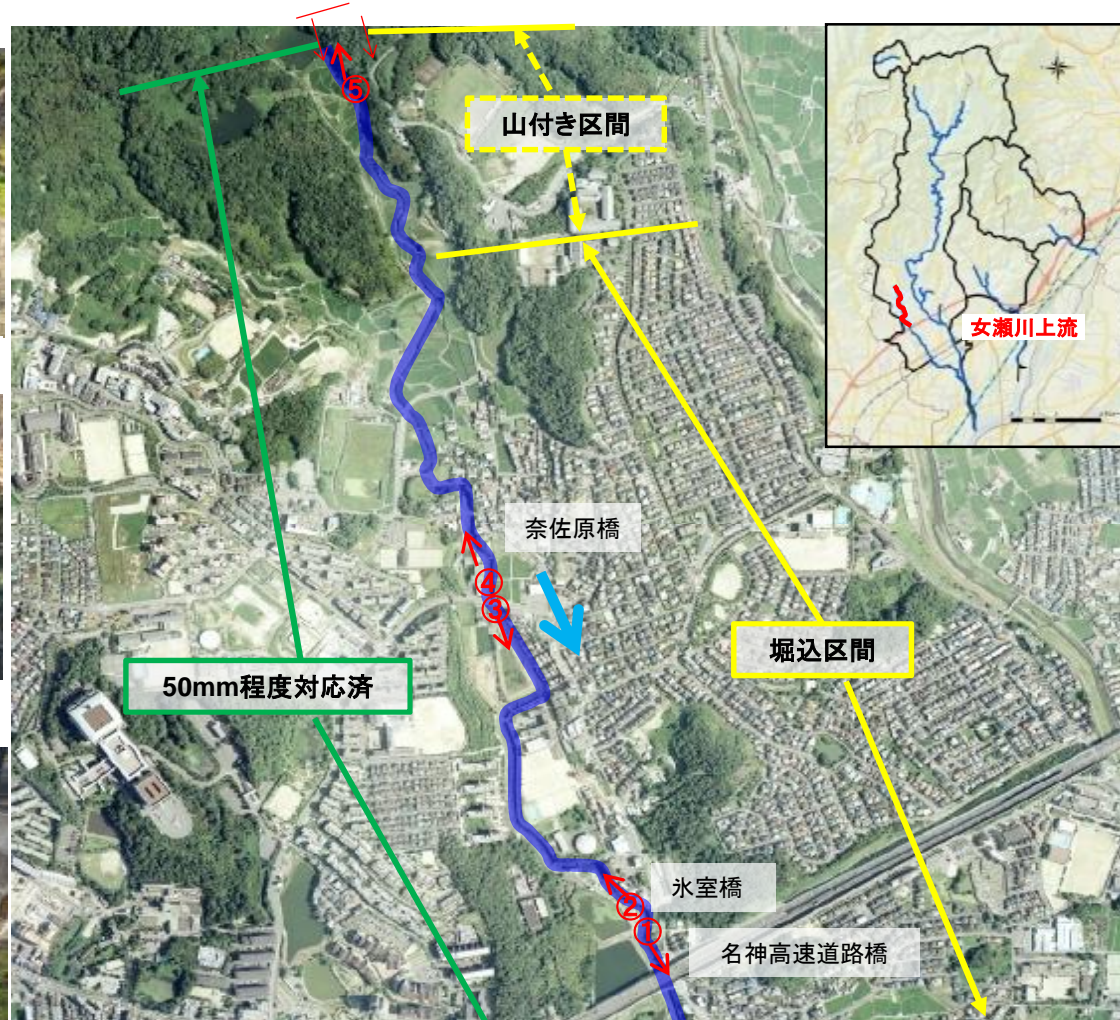
①氷室橋より下流を見る



②氷室橋より上流を見る



③奈佐原橋より下流を見る



④奈佐原橋より上流を見る



⑤女瀬川上流端付近



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（真如寺川）

- 川幅は約5mで、河床勾配は1/35程度である。
- 河道周辺は市街地となっており、護岸が整備されている。



2.淀川右岸ブロックの河川特性（西山川）

- 川幅は約10mで、河床勾配は1/80~1/140程度である。
- 河道周辺は概ね農地となっているが、下流部では住宅地となっている。



①芥川との合流部



②無名橋より東山川合流点を見る

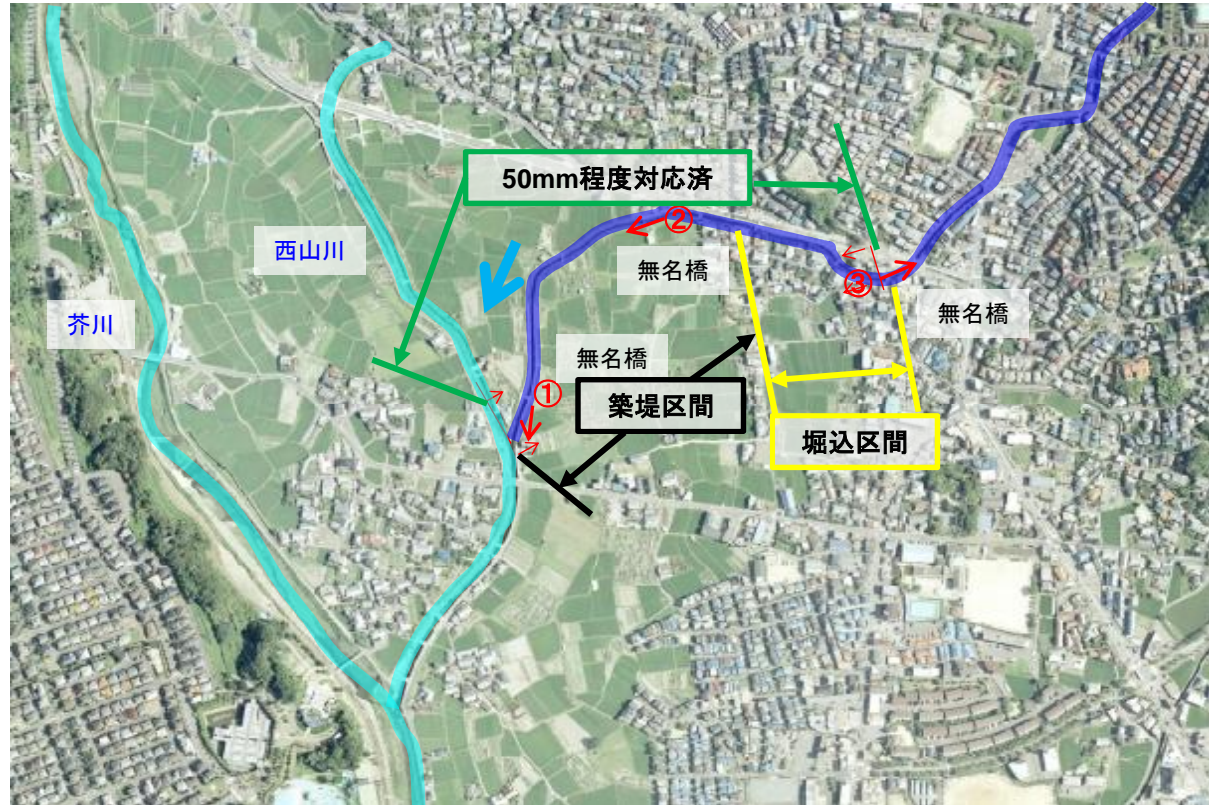


③無名橋から下流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（東山川）

- 川幅は約5m程度で、河床勾配は1/40程度である。
- 上流部には住宅地が広がり、下流部では農地が広がっている。



①無名橋から西山川合流付近を見る



②無名橋から下流を見る

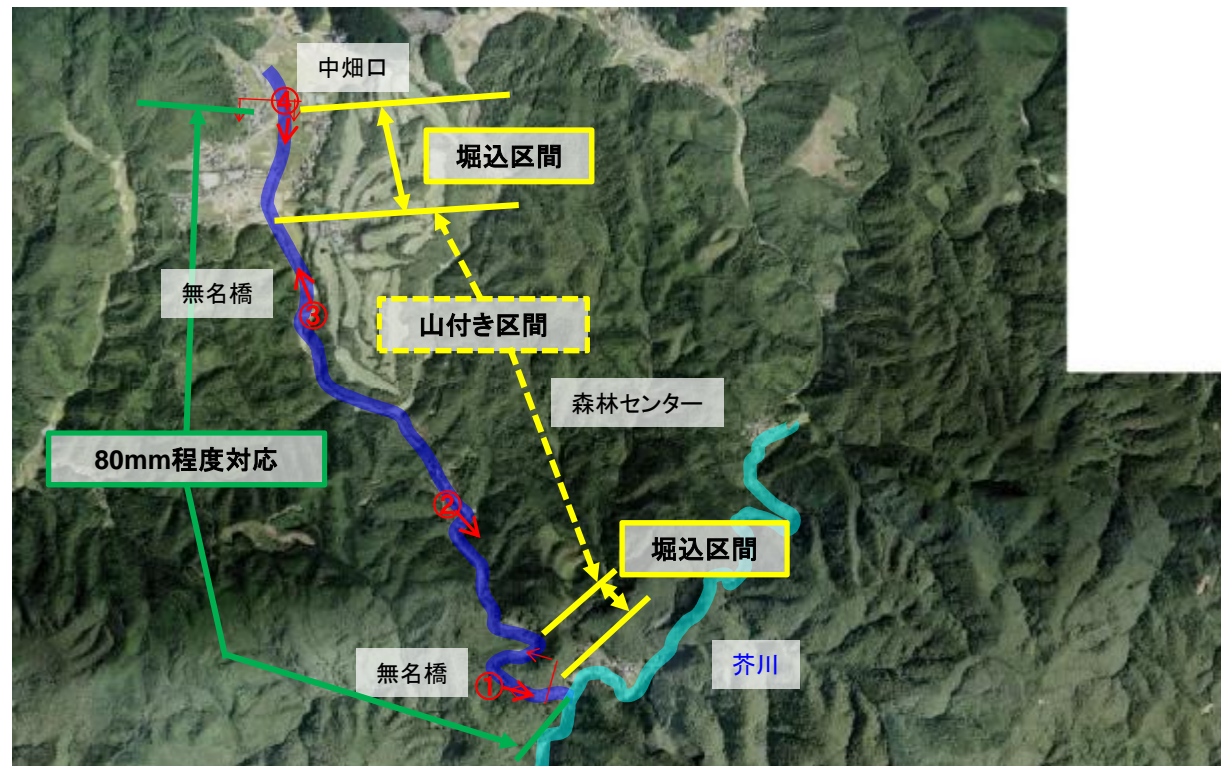


③無名橋から上流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（田能川）

- 川幅は約5mで、河床勾配は1/60程度である。
- 山間部ではあるが、上流域には集落やゴルフ場などがある。



①無名橋より下流を見る



②森林センターより下流を見る



③無名橋から上流を見る



④中畑口付近より下流を見る



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（檜尾川）

● 檜尾川下流区間

（淀川合流点～JR東海道線）

- ・ 川幅は約25mであるが、淀川合流点付近では約70mに広がっている。
- ・ 河床勾配は1/250～1/650程度である。
- ・ 低水路部は矢板護岸、その上部はブロック護岸で整備されており、河道周辺は農地や住宅が広がっている。

① 演習橋より下流を見る。



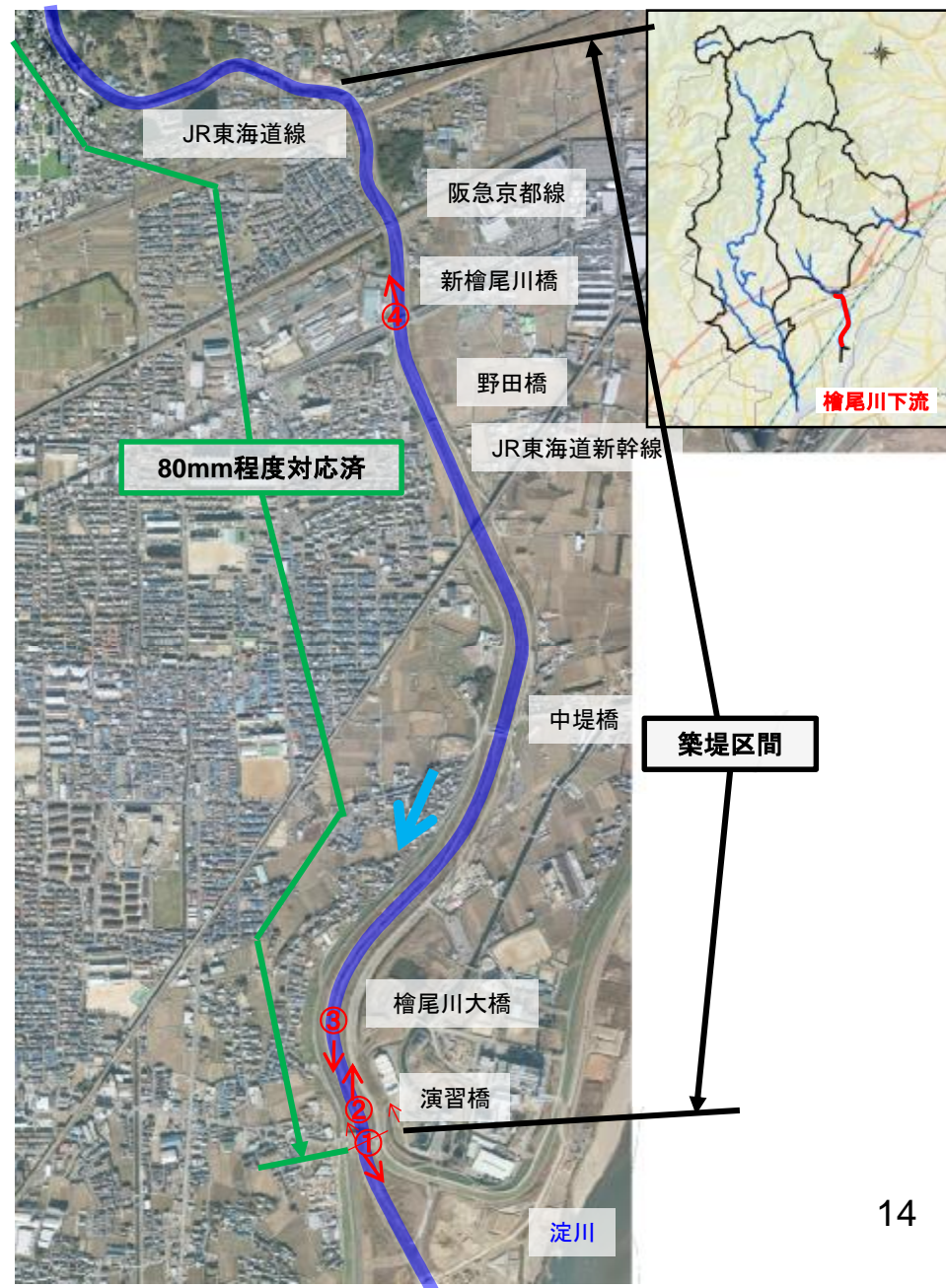
③ 檜尾川大橋より下流を見る。



② 演習橋より上流を見る。



④ 新檜尾川橋より上流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（檜尾川）

● 檜尾川上流区間（JR東海道線より上流）

- 川幅は、山間部では約5m、山間部以外では約15m程度である。河床勾配は、一部琴堂橋付近で1/80程度となるが、概ね1/200~1/250程度である。
- 河道周辺は農地や住宅地となっており、護岸が整備されている。



① 檜尾川橋より下流を見る



② 春日橋下流付近



③ 春日橋上流付近



④ 磐手橋より下流を見る



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（東檜尾川）

- 川幅は約5mで、河床勾配は1/20程度である。
- 上流部では山地及び農地が隣接し、下流部では住宅地が広がっている。

①無名橋から下流を見る



②無名橋から下流を見る



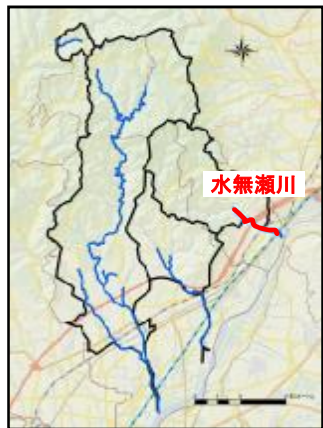
③無名橋から下流を見る



2. 淀川右岸ブロックの河川特性（水無瀬川）

●水無瀬川

- 上流部は山地で、川幅が約10mで河床勾配が1/30程度であり、下流部は市街地で、川幅が約25mで河床勾配が1/100～1/200程度である。
- JR東海道本線付近に東大寺公園が整備されている。



⑥調子橋上流より調子橋を見る



⑦東大寺公園



①下流より新水無瀬橋を見る



②水無瀬橋下流より下流を見る



③水無瀬橋下流より水無瀬橋を見る



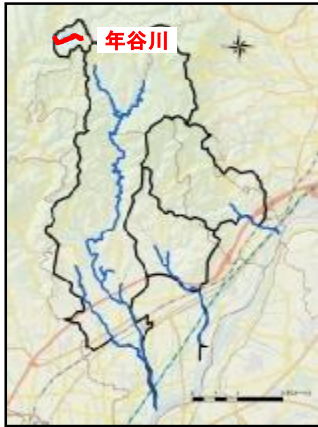
④水無瀬橋上流より下流を見る



⑤調子橋より下流を見る



2.淀川右岸ブロックの河川特性（年谷川）

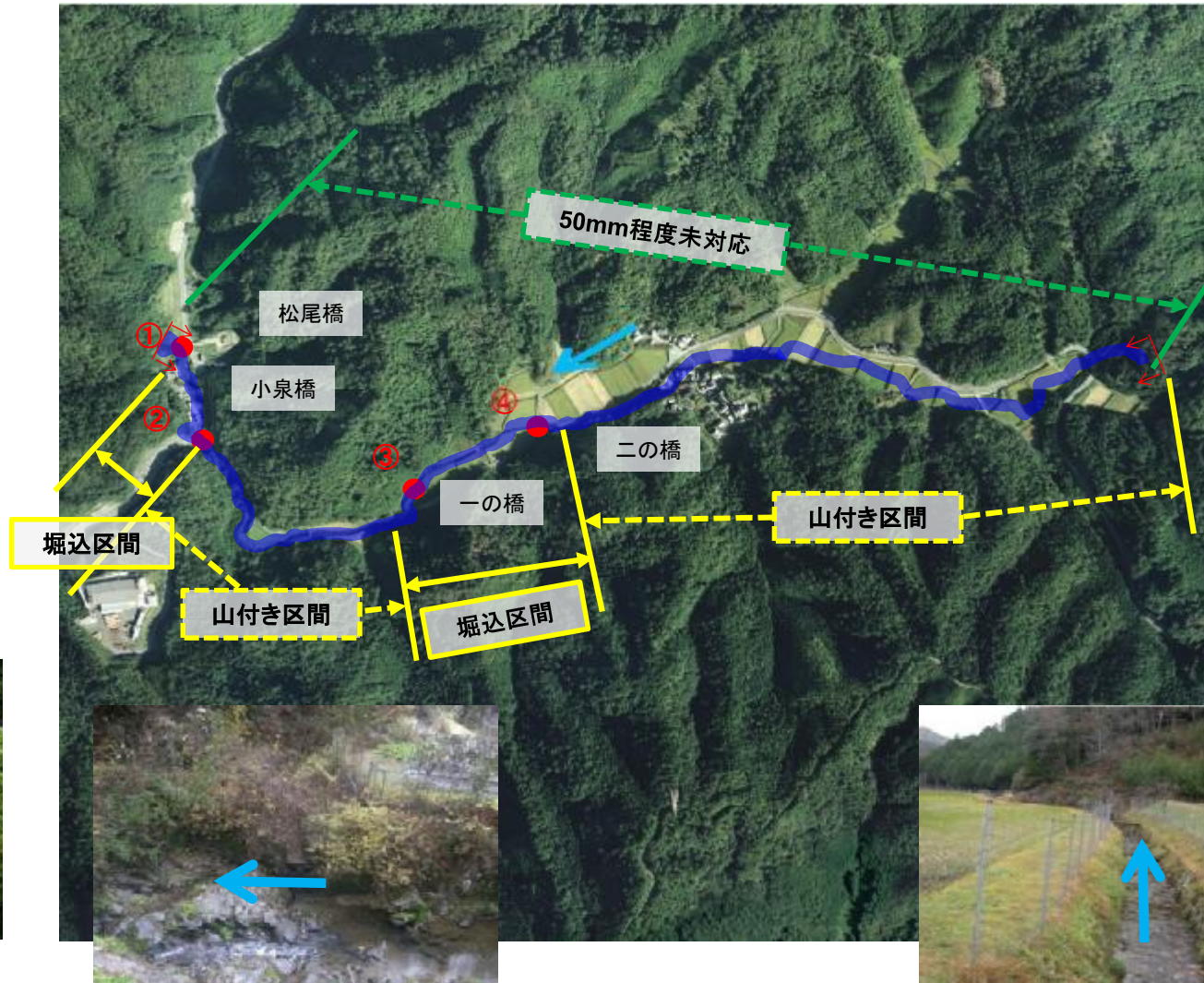


- 川幅は約5m、河床勾配は1/50程度である。
- 山地部を流れ、河道周辺は農地として利用されている。

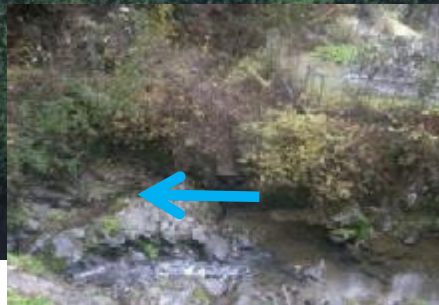
①松尾橋付近



②小泉橋付近



③一の橋付近



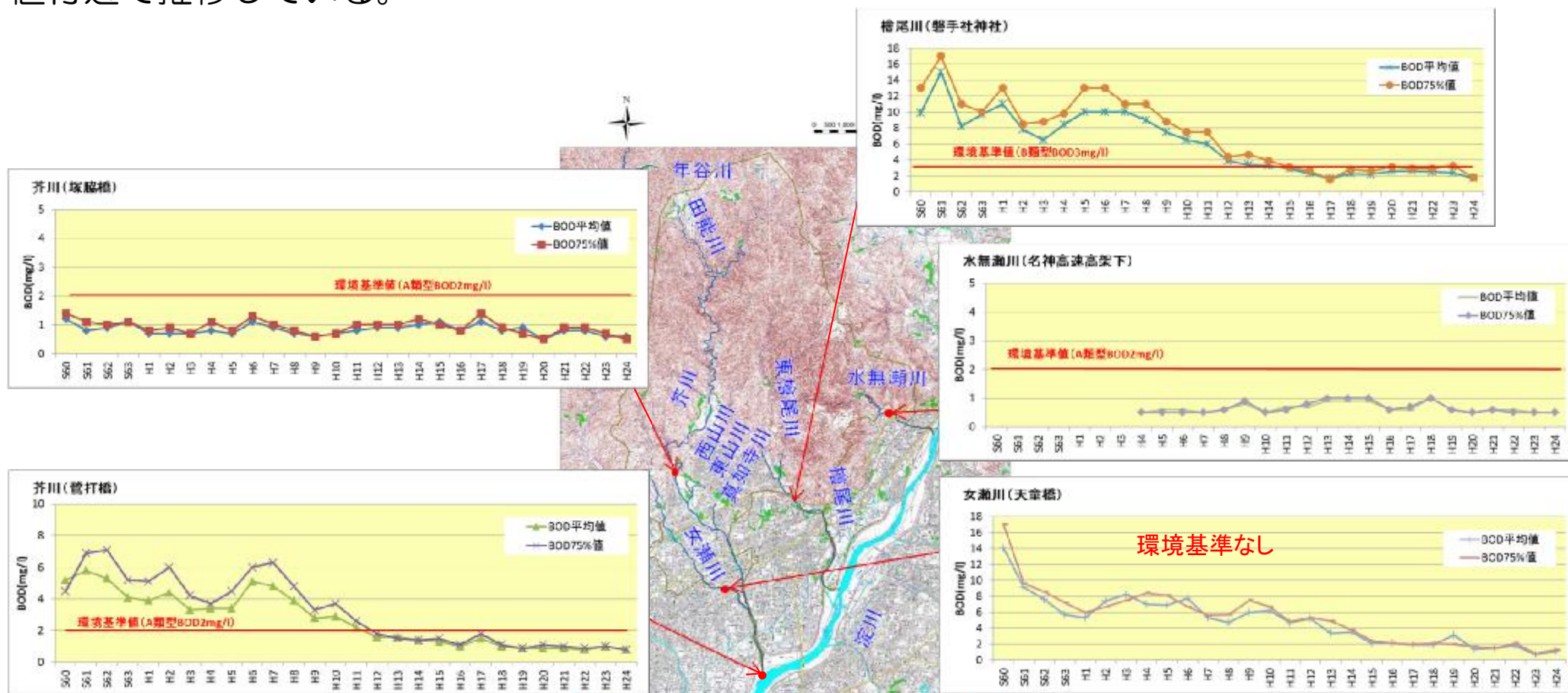
④二の橋付近



3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容【(1) 水質】

水環境（水質）

・芥川及び水無瀬川の環境基準はA類型に指定されており、環境基準点においては近年、基準値以下で推移している。また檜尾川はB類型に指定されており、環境基準点においては、基準値付近で推移している。

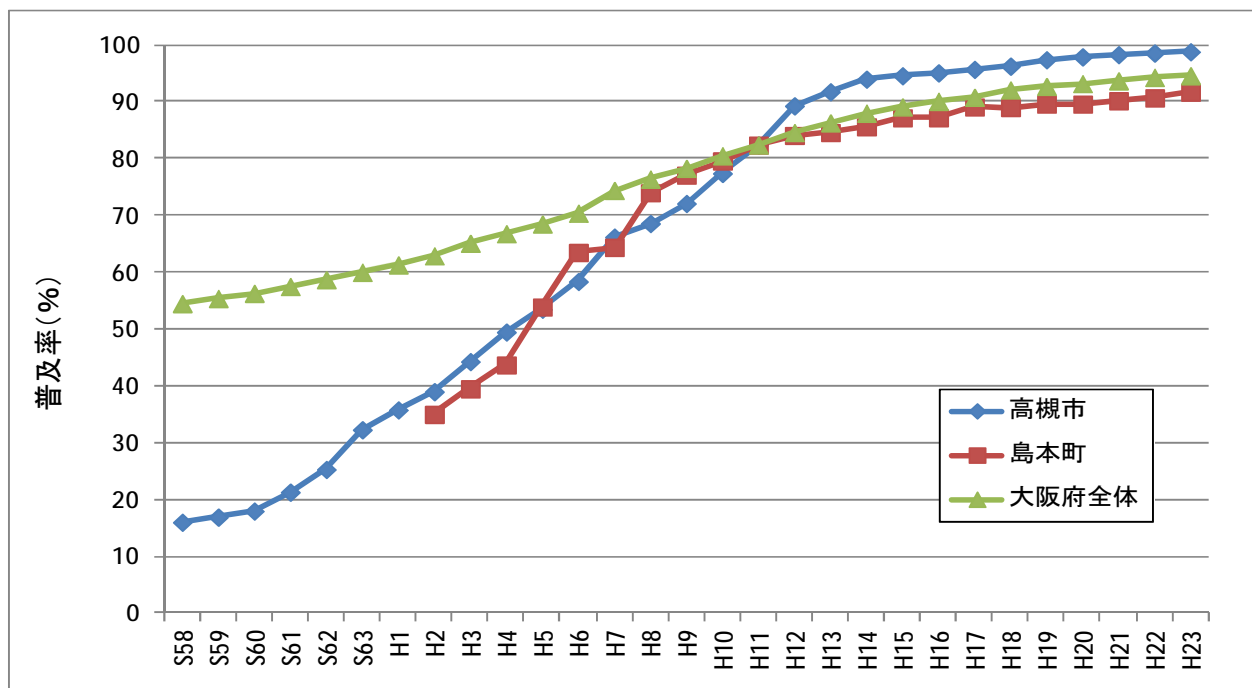


出典: 大阪府ホームページ

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(1) 水質】

🌍 水環境（下水道普及率）

- 下水道の整備状況（平成23年度末）として、下水道普及率で見ると高槻市では98.8%、島本町では91.7%となっている。



3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(1) 水質】

水質から見た課題

○水質は、芥川、水無瀬川、檜尾川は、近年では環境基準を達成しているが、今後も良好な水質を維持していくことが必要である。

目標

○水質に関する関係機関や地域住民に対するさらなる意識啓発を目指す。

実施

○市町関係機関と連携し下水道普及率を高めつつ、地域で行われているアドプト活動、美化運動等において、地域住民とともに、ゴミを削減するための意識啓発を行う。

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

● 水利用

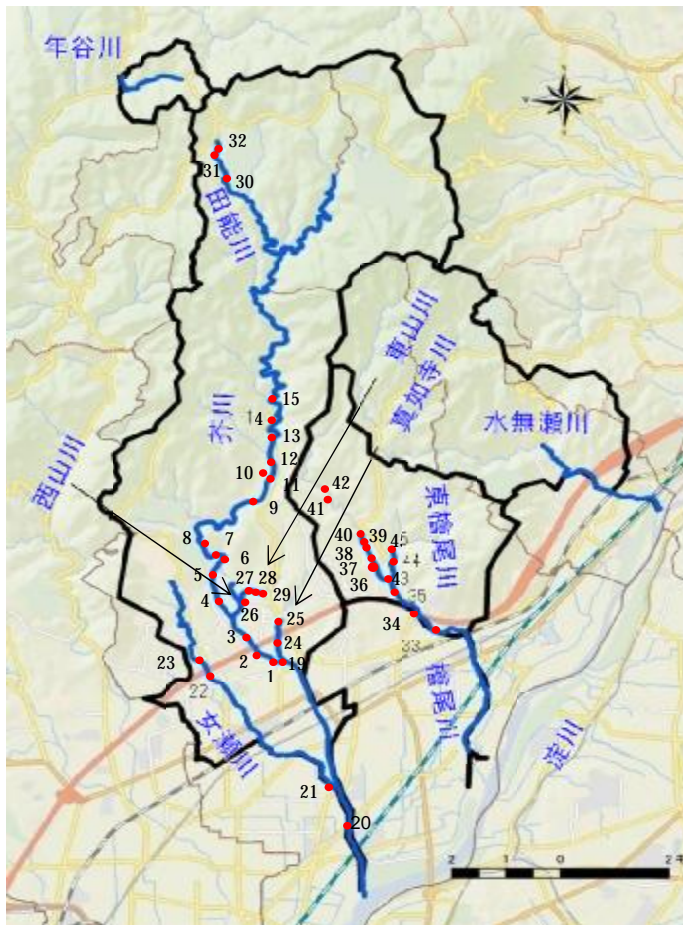
- ・ 河川水は堰等により取水され、農業用水として利用されている。

芥川水系 取水施設諸元

番号	河川名	施設名
1	芥川	水疎用水樋
2		下井出井堰
3		今井手井堰
4		川島井井堰
5		田刈井堰
6		服部一の湯井堰
7		広用水取水口
8		一の川原井堰
9		佐倉用水樋
10		大畠堰堤
11		川原井出井堰
12		下垣内頭首工
13		今井堰堤
14		西垣内堰堤
15		大井出頭首工
16		鬼ヶ谷堰堤
17		島崎用水
18	あまがし瀨取水口	
19	岩尾堰堤	
20	建切用水樋	
21	女瀨川	芝生用水樋
22		氷室川水門
23	中の池井堰	
24	真如寺川	北畑取水口
25		キツネ塚取水口
26	東山川	東田刈用水取水口
27		宮之川原第3取水口
28		宮之川原第2取水口
29		宮之川原第1取水口
30	田能川	寿代1号取水口
31		スハノ下2号取水口
32		スハノ下1号取水口

檜尾川水系 取水施設諸元

番号	河川名	施設名	
33	檜尾川	檜尾川堰堤	
34		安満用水取水口	
35		佐保用水樋管	
36		笠松樋管	
37		西条樋管	
38		琴堂用水樋管	
39		麻野河原樋管	
40		西谷用水樋	
41		さいか堰堤	
42		原熊ヶ谷用水 第1号取水口	
43		東檜尾川	尾崎河原取水口
44			総数樋管
45	西北浦取水口		



芥川水系・檜尾川 取水施設位置図

水無瀬川水系 取水施設諸元

河川名	No.	取水施設名称
水無瀬川	1	大井出取水堰
	2	半坂取水堰



水無瀬川水系 取水施設位置図

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

魚類

既往の調査で、13科37種の魚類の生息が確認され、メダカやドジョウなどの貴重種も確認されている。



河川名	種類
芥川	34
檜尾川	13
東檜尾川	7
水無瀬川	7



メダカ



シマドジョウ



カワヒガイ

確認された貴重種

写真の出典：
「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」

出典：「一級河川芥川 多自然型護岸検討業務報告書 平成9年3月」
 「一級河川茨木川 多自然型護岸検討業務報告書 平成10年3月」
 「一級河川安威川外 多自然型護岸検討業務報告書 平成11年2月」
 「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成24年2月」
 「一級河川安威川外河川水辺環境調査委託報告書 平成26年3月」

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

魚類確認状況

科	種名	在来種 /外来種	芥川	檜尾川	東檜尾川	水無瀬川	環境省レッドリスト (2012)	大阪府レッドリスト (2014)
コイ	コイ		●	●				
	ゲンゴロウブナ		●					
	ギンブナ		●	●	●	●		
	フナ属		●					
	カネヒラ		●	●				
	オイカワ		●	●	●	●		
	カワムツ		●	●	●	●		
	ヌマムツ		●		●			絶滅危惧Ⅱ類
	モツゴ		●					
	カワヒガイ		●					絶滅危惧Ⅰ類
	ムギツク		●					絶滅危惧Ⅱ類
	タモロコ			●				準絶滅危惧
	カマツカ		●					
	コウライニゴイ		●					
	ニゴイ属		●					
	コウライモロコ		●					
アブラハヤ					●		情報不足	
タカハヤ			●	●	●			
ドジョウ	ドジョウ		●	●				絶滅危惧Ⅱ類
	シマドジョウ		●					準絶滅危惧
ナマズ	ナマズ		●					準絶滅危惧
アユ	アユ		●					準絶滅危惧
サケ	ニジマス	外来種	●					
カダヤシ	カダヤシ	外来種	●			●		
メダカ	メダカ		●	●				絶滅危惧Ⅱ
タウナギ	タウナギ	外来種	●					
サンフィッシュ	ブルーギル	外来種	●					
	オオクチバス	外来種	●	●				
ボラ	ホソバセセリ		●					
ドンコ	ドンコ		●	●	●	●		
ハゼ	カワヨシノボリ		●	●	●	●		
	トウヨシノボリ		●					情報不足
	オオヨシノボリ		●					情報不足
	シマヨシノボリ			●				情報不足
	ヨシノボリ属		●					
	ヌマチチブ		●					
タイワンドジョウ	カムルチー	外来種	●					

区分	定義
絶滅危惧Ⅰ類	大阪府内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	大阪府内において絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	大阪府内において存続基盤が脆弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種

出典:「一級河川芥川 多自然型護岸検討業務報告書 平成9年3月」
 「一級河川安威川外 多自然型護岸検討業務報告書 平成11年2月」
 「一級河川安威川外河川水辺環境調査委託報告書 平成26年3月」

「一級河川茨木川 多自然型護岸検討業務報告書 平成10年3月」
 「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成24年2月」

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

底生生物

・平成22年度の調査で、7科7種の貴重種および外来種の生息が確認された。貴重種としては、モノアラガイ、ホンサナエなどが確認されている。

底生動物目別種数一覧

目名	科名	種名	調査地区			在来種 ／外来種	環境省レッドリスト (2012)	大阪府レッドリスト (2014)
			正恩寺橋 下流	JR橋梁 下流	淀川 合流部			
順列	サンカクアタマウズムシ	アメリカナミウズムシ		○	○	外来種		
基眼	モノアラガイ	モノアラガイ	○				準絶滅種	
	サカマキガイ	サカマキガイ	○		○	外来種		
ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		○	○	外来種		
エビ	ヌマエビ	Neocaridina属	○	○	○	外来種		
	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	○	○	○	外来種		
トンボ	サナエトンボ	ホンサナエ	○					絶滅危惧Ⅱ類

出典:「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成23年2月」



ゲンジボタル

区分	定義
絶滅危惧Ⅰ類	大阪府内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	大阪府内において絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	大阪府内において存続基盤が脆弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種

・ゲンジボタルやその餌となるカワニナも確認されており、高槻市のHPによると本調査では見られなかったヒメボタルについても芥川で確認されている。



カワニナ



モノアラガイ

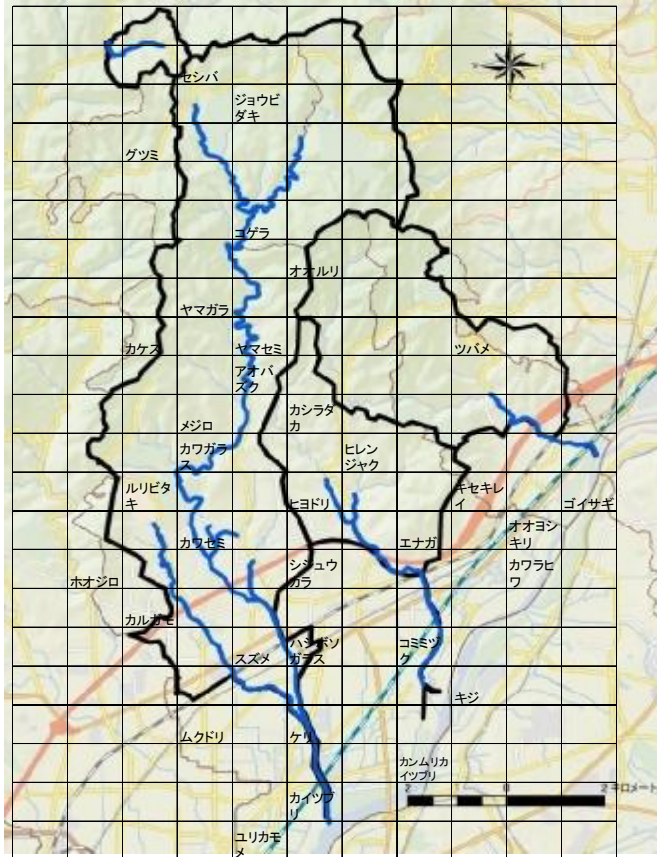
写真の出典:
「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

鳥類

既往の調査で、36種の鳥類の生息が確認された。貴重種としては、ヤマセミ、カワガラス、オオヨシキリなどが確認されている。

種名	環境省レッドリスト (2012)	大阪府RDB (2014)
サシバ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類
ジョウビタキ		
ツグミ		
ヨゲラ		
オオルリ		
ヤマガラ		
カケス		
ヤマセミ		準絶滅危惧
ツバメ		
アオバズク		絶滅危惧Ⅱ類
メジロ		
カシラダカ		準絶滅危惧
カワガラス		準絶滅危惧
ヒレンジャク		
ルリビタキ		
ヒヨドリ		
キセキレイ		
ゴイサギ		
カワセミ		
エナガ		
オオヨシキリ		準絶滅危惧
ホオジロ		
シジュウカラ		
カワラヒワ		
カルガモ		
スズメ		
ハシボソガラス		
ヨミツク		
キジ		
ムクドリ		
ケリ		準絶滅危惧
カンムリカイツブリ		
カイツブリ		
ユリカモメ		
コサギ		
トビ		



ヤマセミ



カワガラス



オオヨシキリ

区分	定義
絶滅危惧Ⅰ類	大阪府内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	大阪府内において絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	大阪府内において存続基盤が脆弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種

写真の出典:
「川の生物図典 1996.4
(財)リバーフロント整備センター編」

出典:「高槻市の野鳥」高槻市 平成元年12月
全ての種が確認されている。

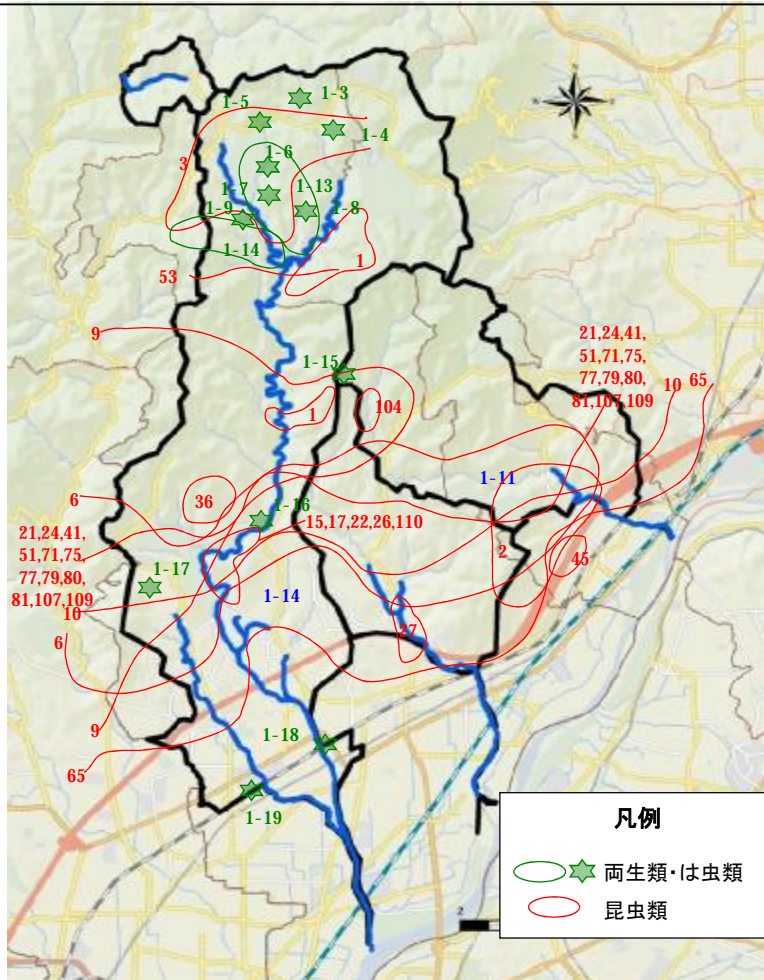
3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

昆虫類

・ 既往の調査では、林やそれに囲まれた溪流にすむオオムラサキ、ムカシトンボ等が確認されている。

両生類・は虫類

・ 同じ調査で、特別天然記念物であるオオサンショウウオ等の貴重種が確認されている。



昆虫類

番号	種名	大阪府レッドリスト (2014)	環境省レッドリスト (2012)
1	ムカシトンボ	準絶滅危惧	
2	ムカシヤンマ	準絶滅危惧	
3	ハッチョウトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	
6	ハルゼミ	準絶滅危惧	
9	オオムラサキ	準絶滅危惧	
10	ゲンジボタル		
15	キイロサナエ	準絶滅危惧	
17	タベサナエ	準絶滅危惧	
21	オオルリボシヤンマ	準絶滅危惧	
22	キイロヤマトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧
24	オオエゾトンボ		
26	ヨツボシトンボ	準絶滅危惧	
27	ナニワトンボ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
36	エゾハサミムシ		
41	ヤマクダマキモドキ		
45	アオマツムシ		
51	ダイリフキバツタ	準絶滅危惧	
53	アカスジキンカメムシ		
65	チツゼミ		
71	アキタクロナガオサムシ		
75	マヤサンオサムシ		
77	ゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	
79	ガムシ	準絶滅危惧	
80	オオクワガタ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
81	ネトクワガタ		
104	モンキジカバチ		
107	ホソバセリ	準絶滅危惧	
109	クロヒカゲモドキ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
110	キマダラルリツバメ	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧

両生類・は虫類

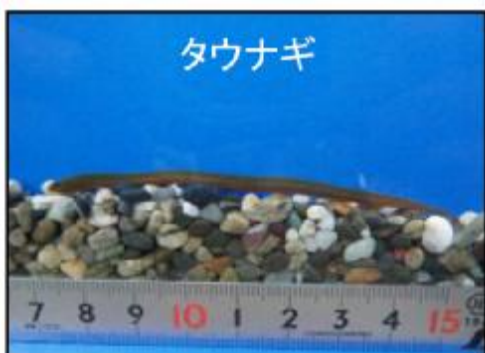
種番号	種名	大阪府レッドリスト (2014)	環境省レッドリスト (2012)
Rb	ダルマガエル	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧ⅠB類
Pe	モリアオガエル	準絶滅危惧	
Uq	オオサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
Uf	カスミサンショウウオ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類
Uc	ヒダサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧

出典：第2回自然環境保全基礎調査 S56環境省
全ての種が確認されている。

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

●外来種

- ・府のこれまでの調査で魚類ではブルーギル、オオクチバス、ニジマス等が、底生動物ではサカマキガイやフロリダマミズヨコエビ等が確認されている。
- ・高槻市が実施した芥川や女瀬川での環境モニタリング調査では、動物ではウシガエル、ミシシippアカミミガメ、ヌートリア等が、植物ではミズヒマワリ、オオカワヂシャ等が確認されている。



出典：「一級河川安威川外河川水辺環境調査委託報告書 平成26年3月」

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

●流況

- 各河川における流況は以下のとおりである。

河川名	流量 (m ³ /s) 【平均】	観測年
芥川 (芥川橋)	1.22~0.03 【0.61】	H12.1.1~ H12.12.31
檜尾川 (檜尾川橋)	0.15~0.00 【0.08】	H12.1.1~ H12.9.11
女瀬川 (天童橋)	0.35~0.15 【0.28】	H12.1.1~ H12.12.31

●渇水状況

- 水無瀬川は古くから、渇水期に中流部が干上がることで知られている。



●縦断的な連続性

- 各河川における落差工数は、芥川で55箇所、檜尾川で17箇所、水無瀬川で15箇所となっている、
- 魚道が整備されている落差工も多少見られるが、高低差の大きい落差工等も多く、水生生物の移動が困難な状況となっている。



水無瀬川
落差工(魚道なし)



芥川
落差工(魚道あり)

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(2) 利水・生態系】

利水・生態系から見た現状・課題

- 堰や落差工による縦断的な不連続性が存在しており、連続性の確保について検討が必要である。
- ブルーギル、オオクチバス、サカマキガイ、ミズヒマワリ等の外来種が確認されており、在来種の生態系に影響を及ぼす恐れがあるため対策が必要である。

目標

- 流水面の連続性の確保を目指す。
- 外来種の繁茂・繁殖等により生態系に悪影響を及ぼすような場合は、関係機関と連携し、生物多様性の保全を目指す。

実施

- 維持補修等の機会に合わせて、魚道の設置等により不連続性を解消するよう努めることや、農業関係機関と連携し、農業用水などの適正かつ効率的な水利用を図ることなどで、河川の流水の正常な機能を維持することに努める。
- 関係市町や市民団体等と連携し、外来種の駆除活動を行う等、生物多様性の保全に努める。

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容【(3) 河川空間利用】

●空間利用

芥川において、摂津峡公園、芥川緑地、桜堤公園、水無瀬川において東大寺公園が整備されており、河川周辺の空間利用が行われている。

河川空間利用

	No.	名称	利用内容
芥川	1	釣り堀	ます類等の釣り
	2	摂津峡	花見、水あそび、キャンプ、バーベキュー等
	3	芥川緑地	散策、ジョギング、テニス、バードウォッチング等
	4	桜堤公園	花見、こいのぼりフェスタ、散策等
	5	防災ステーション	防災活動
水無瀬川	6	釣り堀	ます類等の釣り
	7	東大寺公園	みなせ川ウォッチング、散策、テニス等



摂津峡公園



芥川緑地(あくあぴあ芥川)



こいのぼりフェスタ



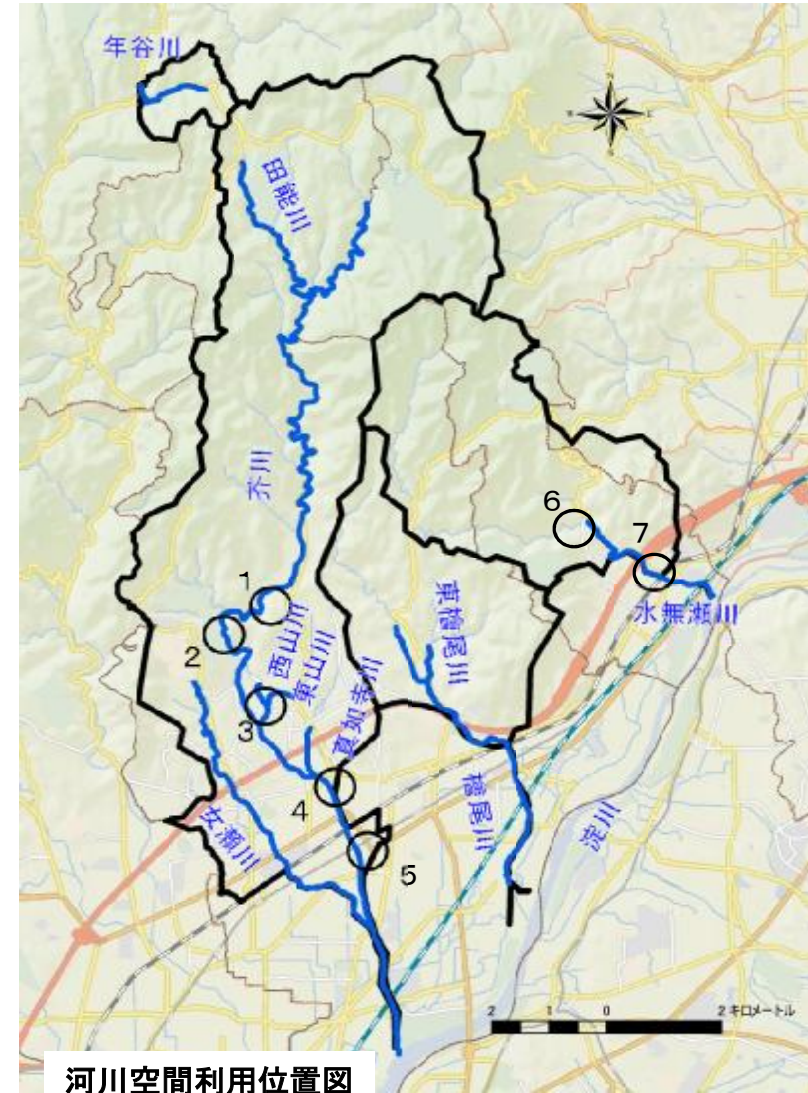
桜堤公園



防災ステーション



東大寺公園



3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(3) 河川空間利用】

●地域連携

芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク（愛称：芥川倶楽部）の取組み「魚みちの整備」、「特定外来生物「ミスヒマワリ」駆除活動」、「クリーンアップ大作戦」および「水辺の学校」などの活動が行われている。



土のうによる簡易魚道の整備



特定外来生物「ミスヒマワリ」駆除活動



芥川クリーンアップ大作戦

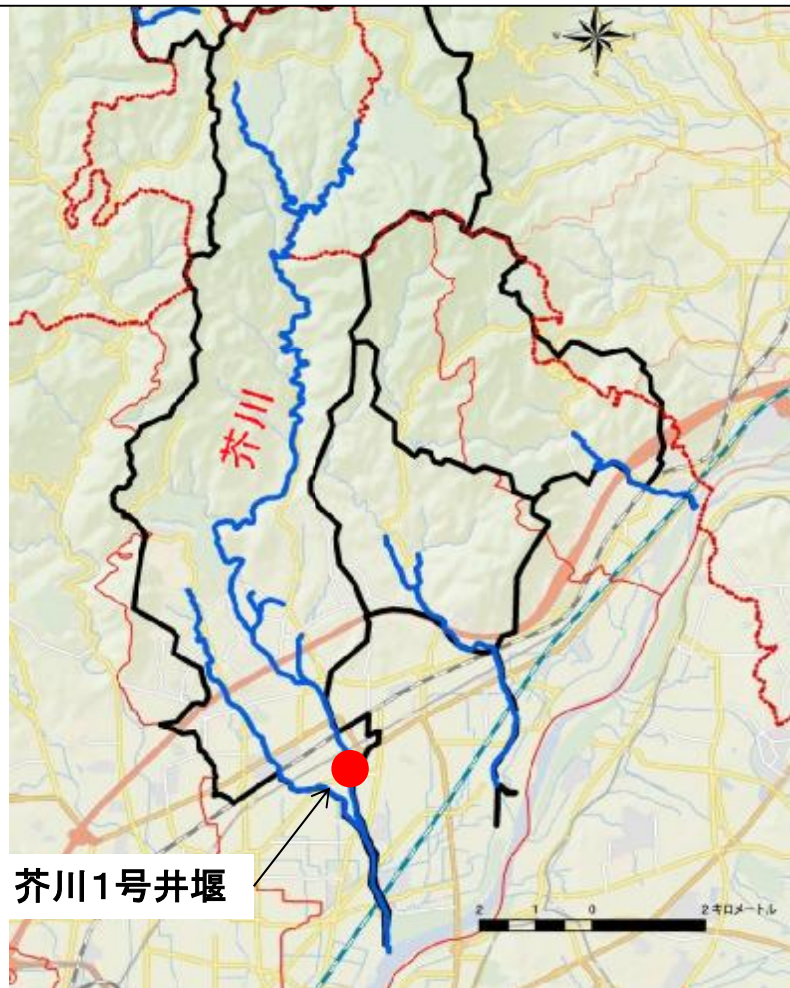


水辺の学校

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(3) 河川空間利用】

●アユの遡上について

芥川では、芥川1号井堰下流で平成17年にアユが初めて発見され、平成18年に土のうによる簡易魚道を設置した。平成23年には現在の魚道が完成し、平成24年から市民ボランティアによる遡上調査を実施している。



アユの遡上調査地点



土のうによる簡易魚道づくり(H18)



アユの遡上調査の様子

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(3) 河川空間利用】

・アドプト・リバー・プログラム等による清掃活動が盛んに行われ、多くの地域住民が参加している。

淀川右岸ブロックにおけるアドプト・リバー・プログラム

	名称	河川名	団体名	認証年月日
1	アドプト・リバー・芥川	芥川	芥川美化奉仕会	H13, 7,15
2	アドプト・リバー・萩之庄	檜尾川	ジャスコ高槻店	H14, 4, 7
3	アドプト・リバー・津之江	女瀬川	如是地区福祉委員会	H15, 3,30
4	アドプト・リバー・女瀬川	女瀬川	女瀬川を愛する会	H19, 6,21
5	アドプト・リバー・水無瀬川	水無瀬川	水無瀬川を愛する会	H25.11.18



サインボードの除幕式



花の手入れの様子



魚つかみ大会

河川空間利用を踏まえての課題

○芥川をはじめ市民団体が数多く活動しているが、水辺へのアクセスが困難な箇所があり、さらに水辺とふれあう空間の確保が必要である。

目標

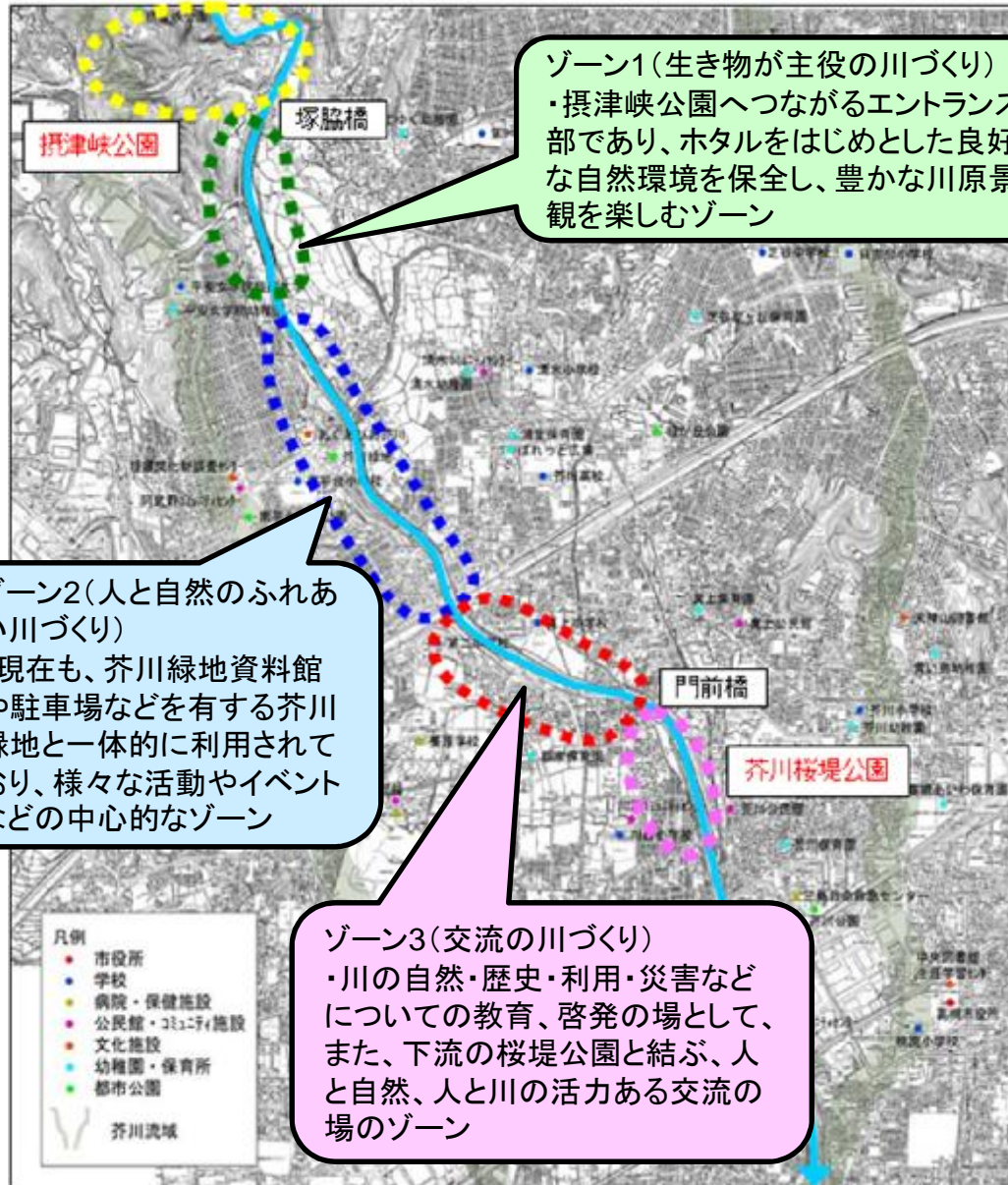
- 一般府民の安全な河川利用の周知、環境意識の啓発に努め、川と人との豊かなふれあい活動の場の維持・形成を目指す。
- 周辺環境との調和、利用状況を考慮した河川整備を目指す。

実施

- 市民団体等との一層の連携による河川利用活動、維持管理の促進。
- 関係市町や地域住民などと連携し、周辺環境と調和した整備を進める。

3. 環境面・景観面から見た課題・目標・実施内容 【(3) 河川空間利用】

●芥川かわまちづくり（概要）



ゾーン1(生き物が主役の川づくり)
・摂津峡公園へつながるエントランス部であり、ホテルをはじめとした良好な自然環境を保全し、豊かな川原景観を楽しむゾーン

ゾーン2(人と自然のふれあい川づくり)
・現在も、芥川緑地資料館や駐車場などを有する芥川緑地と一体的に利用されており、様々な活動やイベントなどの中心的なゾーン

ゾーン3(交流の川づくり)
・川の自然・歴史・利用・災害などについての教育、啓発の場として、また、下流の桜堤公園と結ぶ、人と自然、人と川の活力ある交流の場のゾーン

申請 高槻市
登録 平成26年3月26日

《計画の概要》
高槻駅前から摂津峡の周辺整備と一体となった水辺空間の整備により、河川沿いの点在する公園と融合する河川空間を創出し、市が掲げる「住みやすさナンバーワン」のまちづくりを推進する。本計画では、府が河川管理用通路や親水護岸の整備等を行い、河川空間と公園空間が一体となった新たな都市空間を醸成し、地域の活性化を推進する。

《役割》
高槻市・・・遊歩道の上面利用・日常の維持管理、ソフト施策
大阪府・・・河川管理施設の整備・維持管理

《ソフト施策》
市民・府・市からなる「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク(愛称:芥川倶楽部)」を中心に、環境調査や観察会や、魚道の維持管理などに、市民協働で取り組んでいく。

4. 維持管理

●治水事業の沿革

昭和28年	9月の台風13号による被害（浸水家屋数6570戸、田畑冠水611ha）
昭和35年	芥川において昭和35年度全体計画を作成し改修に着手
昭和54年	檜尾川、水無瀬川において全体計画に基づく改修に着手
平成8年	芥川河川防災ステーションの整備に着手
平成16年	淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画策定
平成19年	芥川河川防災ステーション完成

●構造物の老朽化

- ・護岸等の構造の設置後30年以上が経過し、護岸ブロックの損傷等の老朽化が目立つようになってきている。



護岸ブロックの損傷、開き

●洗掘および堆積部の発生

- ・構造物周辺および合流点付近、水衝部の洗掘が見られる。
- ・床止め工間（直線部）の洗掘、堆積が見られる。

芥川 西之川原橋付近



土砂堆積

4. 維持管理面から見た課題・目標・実施内容

維持管理における課題

○北摂地域は高度成長期に整備された護岸が多く、護岸の空洞化など施設の老朽化が進んでいるため、計画的な補修が必要である。

目標

○河川の特長や施設の劣化状況を踏まえつつ、地先の危険度を考慮して、計画的な維持管理を行い、災害の発生を未然に防ぐ。

実施

○護岸などの河川管理施設について、河川の特長に応じた点検を実施し、構造物の損傷、劣化状況の把握に努め、人命を守ることを最優先に、地先の危険度や土地利用状況などを考慮し、優先順位を定めて、危険度の高い箇所から計画的に補修を行う。
○各河川特有の生態系及び周辺の自然環境に配慮した補修方法を検討し、対策を行う。
(例：落差工補修に合わせた魚道整備、一連区間を分割して交互に施工等)